

安全データシート

作成日 2020年04月23日

改訂日 —

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 IPA70% (1 ℓ)
 会社名 大成化工株式会社
 住所 〒286-0825 千葉県成田市新泉12
 担当部門 分散・コーティング事業部 PDグループ
 担当者 グループ長 菅谷 豊彦
 電話番号 0476 (36) 2241
 FAX番号 0476 (36) 1565
 整理番号 —

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

項目	区分
引火性液体	2

健康に対する有害性

項目	区分
急性毒性（経口）	5
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	2
生殖毒性	2
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	1
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	2
吸引性呼吸器有害性	2

※（分類できない、区分外、該当しないは記載省略）

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

飲み込むと有害のおそれ

強い眼刺激

生殖機能または胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器（中枢神経系、腎臓、全身毒性、）の障害 呼吸器への刺激のおそれ

長期または反復暴露による臓器（血管、肝臓、脾臓、）の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

注意事項

予防処置

火気を避ける事、静電気放電に対する予防処置をとる事。

容器を密閉して置く事。

防爆型の電気機器・換気装置・証明機器等を使用する事。

必要な保護具(手袋・メガネ・帽子・マスク・保護衣等)を着用し、身体への付着、または粉塵・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避ける事。

屋外または喚起の良い場所で使用する事。

取扱い後は、洗顔・手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分行う事。

呼吸用保護具を着用する事。

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。

この製品を使用時には、飲食・喫煙をしない事。

環境への放出を避ける事。

本来の目的以外に使用しない事。

応急処置

火災時には、炭酸ガス・泡又は粉末消火器を使用する事。

眼に入った場合、多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受ける事。

飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受ける事。無理に吐かせない事。

吸入した場合、空気の新鮮な場所で安静にし、気分が悪い場合は医師の診断を受ける事。

皮膚に付いた場合、多量の水と石鹼で洗い、気分が悪い場合は医師の診察を受ける事。

汚染された衣類等を再利用する場合は、汚染の除去をする事。

漏出物を回収する事。

保管

よくフタをし、涼しく・換気が良い所で保管する事。

子供の手の届かない所に保管する事。

施錠して保管の事。

廃棄

本品の付いた布類や本品のガス・内溶液及び使用済み容器を廃棄する時は、関係法規を厳守の上、産業廃棄物として処理する事。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

商品説明：アルコール混合液

成分情報	CAS No.	含有量 (%)	備考
イソプロピルアルコール	67-63-0	70~80	通知物質

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗い、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を布にてすばやく拭き取る。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤で十分洗い落とす。

吸入した場合：蒸気、ガスを吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にし、医師の手当てを受ける。

誤飲した場合：水で口の中をよくすすぐ。速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤：水 [×]、炭酸ガス [○]、泡 [○]、粉末 [○]
ハロゲン化物 [○] その他 []

消火方法：消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等を冷却する。有毒なガスを発生するのでガスマスクを着用する。

6. 漏出時の措置

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。

流出物は液の表面を泡で覆い空容器に回収し、安全な場所に移す。

火花を発生しない安全なシャベル等を使用する。

作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をする。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：

労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則の第2種有機溶剤を含有するので、取り扱ったり保管する場合はこれらの法令の定めるところに従わなければならない。

周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は、防爆型（安全増型）のものとする。

工具は火花防止型のものを用いる。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。

保管上の注意

通風の良いところに保管する。湿気をさける。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

日光の直射を避ける

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱い設備は防爆型を使用する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、くみ取り、攪拌等の装置についてはアースを取るように設備する。

屋内作業の場合には、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備とする。

タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付ける。

取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。

呼吸系の保護

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では、送気マスクを着用する。

目の保護

保護メガネを着用する。

皮膚の保護

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

液体 [○]、気体 []、固体：固形状 []、粉末状 []、ペースト状 []	
色 : 無色透明	臭 気 : 溶剤臭、刺激臭
沸 点 : 8 2℃	蒸気圧 : 4. 4 KPa (2 0℃)
比 重 : 約0.9	P H値 : 該当しない
その他 : 特になし	
引火点 : 1 2℃ 発火点 : 4 5 5℃以上	爆発限界 ; 上限 1 2 v o 1 % 下限 2 v o 1 %

1 0. 安定性及び反応性

接触により危険性のある物質：強酸化剤、強酸、強還元剤、強塩及び苛性ソーダのようなアルカリ金属水酸化物との配合をさける。

燃焼などによる有毒ガス発生：CO、NO_x など

その他の反応性情報 : 特になし

1 1. 有害性情報

物質名	管理濃度	ACGIH*	IARC	LD50**
イソプロピルアルコール	2 0 0 p p m	2 0 0 p p m	3	5, 8 4 0 mg/kg
組成物質に関するその他の有害性情報 : 情報を持っていない。				
製品に関する有害性情報 : 製品としての安全性試験は行ってない。				

* : T L V値

** : ラット、経口

1 2. 環境影響情報

イソプロピルアルコール

魚毒性 : Fathead minnow(ウグイ類) TLm 96 9,640 mg/l

分解性 : BOD₂₀ : 1.68 10 ml/lBOD₅ : 0.16 10 ml/lBOD₅:理論酸素要求量の13%、28%、62%

理論酸素要求量(ThOD) : 2.40

1 3. 廃棄上の注意

廃樹脂、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

共通 : 「取り扱い・保管上の注意」の項の一般的注意に従う。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 危険物(引火性のもの)、有機則(第2種有機溶剤)

: 法第57条施行令第18条(表示義務物質)

(イソプロピルアルコール、)

: 法第57条施行令第18条の2(通知対象物質)

(イソプロピルアルコール、)

消防法 : 第4類アルコール類

船舶安全法 : 引火性液体

1 6. その他

主な参考文献

溶剤ポケットブック

製品評価技術基盤機構(NITE)のGHS分類情報

国際化学物質安全カード(ICSC)

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances.

記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂される事があります。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上御使用下さい。